

- 1 会議名 全員協議会
- 2 日時 令和2年2月14日（金）午前10時～午後3時15分
（休憩 午前11時56分～午後1時15分）
- 3 場所 第2・第3委員会室
- 4 出席議員 議長 梅村均、副議長 関戸郁文
議員 片岡健一郎、議員 鬼頭博和、議員 谷平敬子、
議員 黒川武、議員 大野慎治、議員 水野忠三
議員 須藤智子、議員 井上真砂美、議員 伊藤隆信、
議員 堀 巖、議員 木村冬樹、議員 榎谷規子
- 5 欠席議員 宮川隆 議員（13：48から傍聴）
- 6 出席者 市長 久保田桂朗、副市長 小川信彦、教育長 長屋勝彦
総務部長 山田日出雄、市民部長 中村定秋、健康福祉部長
山北由美子、建設部長 片岡和浩、消防長 柴田義晴、教育こ
ども未来部長 長谷川忍
秘書企画課長 伊藤新治、同企画政策グループ主幹 小出健二、
同秘書人事グループ統括主査 加藤淳、協働安全課長 小松浩、
同危機管理グループ統括主査 水野功一、行政課長 佐野剛、
同行政グループ主幹 佐藤信次、同財政グループ統括主査 酒
井寿、市民窓口課長 近藤玲子、同窓口グループ主幹 兼松英
知、同保健医療グループ統括主査 丹羽真伸、環境保全課長
隅田昌輝、同環境グループ統括主査 黒田かおり、上下水道課
長 秋田伸裕、同下水道グループ統括主査 大徳康司、健康課
長 長瀬信子、消防本部総務課長兼消防署長兼防災コミュニテ
ィーセンター長 伊藤真澄、同総務グループ主幹 川松元包
- 7 事務局出席者 議会事務局長 丹羽至、同主任 高野真理子、同主事 高山
智史

- 8 議長あいさつ
- 9 市長あいさつ
- 10 教育長あいさつ
- 11 報告事項

（1）執行機関からの報告

② 令和2年度の国民健康保険税について
市民窓口課長：資料に基づいて説明。

【質疑】

木村議員：国民健康保険運営協議会の会議は公開か。また議事録はHPで公表されているか。

市民窓口課長：公開の会議である。議事録もHPで公開されている。

木村議員：前回の会議の議事録はいつ出来るか。

市民窓口課長：現在作成中。3月末には公開できたらと思っている。

木村議員：県単位化が始まって、3回目の国民保険税率検討がされたところだが、納付金が示された後に毎年、税率を検討していかなくてはいけない。標準保険料率が示されているが、令和2年度は標準保険料率との差の二分

の一程度の改定で、令和3年度は標準保険料率を引き上げることなので、確実に令和3年度も保険税率の値上げが予想される。標準保険料率とは従わなくてはいけないものなのか、どの程度の拘束力があるのか。

市民窓口課長：拘束されるものではない。しかし、市の医療水準に応じて賦課するために参考になるものであることと、被保険者の負担の公平性に繋がるものである。また、標準保険料率以上の税率も今後検討していかなくては、納付金を納めるために必要な税額を確保できない。

木村議員：納付金を納めるためには税率改正をしていかないといけない仕組みである。しかし、一般会計からの繰入れを増やす等、福祉医療への繰入は認められているので、これからも検討すべきと考える。300万円以下の世帯が9割、100万円以下が半分以上で、低所得世帯に対する対応を併せて考えるべきと考えるが、今回の改正に併せて検討はしたか。

市民窓口課長：市独自の減免を行う予定はない。国からも、政策的な判断による独自減免は行わないよう方針が示されている。今後、減免措置は国の制度として対象を拡大することが予定されている。

木村議員：低所得世帯への減免は考えていないとのことだが、国民健康保険の恒常的な問題は、低所得者の被保険者が多いことや、医療費が比較的高いことで、本来であれば国がきちんと保障すべきであり、全国知事会からも1兆円の公費投入が要望されている。岩倉市も国の制度で保障すべきだという姿勢と思うが、非常に危惧しているので、将来的には考えていってほしい。意見である。

堀議員：岩倉市の収納率について、標準の収納率との乖離で61,000千円が補填されるわけだが、54自治体の状況はどのようなか。資料が欲しい。

市民窓口課長：愛知県内の全市町村の収納率一覧でよいか。

堀議員：それで結構である。

市民窓口課長：平成30年度の収納率をまとめたものをお示しする。

堀議員：標準収納率よりも収納率が高い自治体も低い自治体もあるだろうが、一方で標準保険料率に近づけ、標準収納率にも近づけることで、プラスマイナスゼロになるという認識でいるのだが、それで良いか。

市民窓口課長：標準保険料率に近づけ、かつ収納率も平均に近づけることが重要と考える。

水野議員：繰越金が平成27～29年度は増加していたが、その後、減少した理由は。また、今回は不足額61,000千円が繰越金で賄われるが、今後、不足額が繰越金を超えるような事態は想定されるのか。

市民窓口課長：平成30年度の広域化に併せて、標準保険料に合わせる改定を行ったため、収納率差分として不足分を埋めるために35,000千円を活用し、平成29年度から平成30年度にかけて減少した。また、令和元年度は前期高齢者精算分95,000千円と、収納率不足分、医療費増加分を含めて税率を据え置くため168,000千円を活用したので、平成30年度から令和元年度にかけて減少した。不足額が繰越金を上回ることがないように、納付金の支払いが不足することがないように、税率も繰越金を見ながら検討したい。なお、先ほど堀議員から質問のあった、収納率の不足分1人あた

り約 6,700 円を活用したことについて説明する。収納率差分は約 3,800 円、二分の一に抑えた部分として約 2,900 円なので、今回活用した分すべてが収納率差分というわけではない。

③ 令和元年度の工事の繰越について

上下水道課長：資料に基づいて説明。調整池については、グラウンドは完了に 4 月いっぱいかかる見込み。来週から埋め戻し作業が始まるので、具体的な完了スケジュールがはっきりしてくる。少しでも早くグラウンド内作業が完了するよう調整していく。令和 2 年度に導水管の工事を予定しているが、こちらの工事には延伸の影響はない見込みで、予定通り令和 3 年 4 月に共用開始出来るよう進めたい。汚水枝線管渠工事では、資料水色の部分については遅延なく、予定通り令和 3 年共用開始予定。赤線部分を次年度繰越。なお、企業会計に移行したことにより、繰越明許費として補正予算に計上するものではなく、6 月定例会で報告となる。

【質疑】

大野議員：小学校の入学式には綺麗な状態であるべきだ。貯水池の工期が遅れることが判明したのはいつだったのか。

上下水道課長：掘起こした際に地盤が柔らかいことは判っており、遅れ気味であることは認識していたが、なんとか間に合わせるために調整をしていたが、1 月末にどうしても無理だということになり、学校と調整に入った。

大野議員：汚水枝線管渠工事について、昨年も埋設管があって延伸した。設計の段階で調査しておくべき。掘ったらありましたというのは違うんじゃないか。

下水道グループ統括主査：設計段階で埋設調査を行い、設計に反映している。昨年度の工事でも調査を行ったが、把握していないところに埋設管があったため、遅れた。今年度は埋設管ではなく、舗装の下の路盤が改良されていたもので、舗装厚は道路管理者からは聞いていたが、下が改良してあることは把握できなかったもので、掘ってみてわかった。

堀議員：調整池について、事業者は初めてこの工事を行うわけではないと思う。不測の事態も考えて工期は組むものであり、掘ってみて工期が変わることは本来ないはずではないか。

下水道グループ統括主査：設計段階ではボーリング調査をしており、下が玉石混じり層とわかっていた。下の層に関しては 1 : 0.6 の勾配で掘れると設計していたが、試掘すると、玉石の周りが砂石の多い地層で、設計通りにいかないかもしれないことは、試掘段階でわかった。南側には土嚢は少なく、北側に多く積んであることから、この狭いグラウンドの中でも状況が異なり、全部掘るまで、ここまでひどいとは予想できなかった。

木村議員：調整池について、子どもたちの校庭の半分が塞がれているが、市民へ情報提供していかなくてはならない。予定は 4 月いっぱいとのことだが、周知等はどのようなようか。

下水道グループ統括主査：来週から埋戻しが始まり、25 日に学校と打ち合わせをするので、実際に何日までかかるかを報告し、いつどれだけ開放す

るか等を決め、地域の方にも周知する。

木村議員：次回の全員協議会でもいいが、議会にも説明してほしい。また、企業会計に移行したことで、議案に上がってこないため、より丁寧な報告を要望する。例えば1月に工期内完了が困難と判明したなら、その時期を逃さず報告してほしいが、どう考えているか。

上下水道課長：1月終盤に工期内完了が困難であると判明したので、今回は直近の全員協議会で報告した。今後の進捗も報告する。

④ その他

(1) (仮称) 多目的交流広場正式名称の決定について

秘書企画課長：資料に基づいて説明。

【質疑】

特になし。

(2) 岩倉市特別職報酬等審議会の審議結果について

秘書企画課長：資料なし口頭説明。1月15日と1月23日の2回開催し、10人の委員により審議し、県内各市や類似団体の特別職等の報酬、市税の状況、第4次総合計画の施策評価結果等、委員から要望のあった資料を提示し、それをもとに意見等が述べられ、現行の額で据え置くことが適当であると判断された。市議会議員の報酬についても改定は市長等と連動すべきであり、現行の額で据え置くことが適当であると判断された。このことから2月13日に審議会会長から市長に答申がされた。なお、会議録は本市HPに掲載中。

【質疑】

特になし。

(3) 令和2年度岩倉市防災訓練の日程変更について

協働安全課長：資料なし口頭説明。8月最終日曜ではなく、令和2年は9月27日(日)に開催する。訓練内容は今後精査する。

【質疑】

黒川議員：会場はどこか。

協働安全課長：曾野小学校である。

井上議員：9月の最終日曜日は市民運動会や小学校の運動会の時期でもあるが、調整はできているのか。

協働安全課長：調整済みである。

(4) 野寄町地内の市有財産(土地)の売払いについて

行政課長：資料に基づき説明。

【質疑】

堀議員：初当選議員もいるので、なぜこれらの土地を購入したか、そしてなぜ方向転換をして売却することになったか、説明が必要と思うが。

行政グループ主幹：平成23年度に購入した経緯は、当時14筆を購入した

が、全て同じ方が所有していた。この所有者がお亡くなりになり、相続財産管理人の弁護士が管理していたが、樹苗圃、保育園・小中学校の体験農場等として活用できると考え、また公共事業用地の代替地として活用できると考えたこと、また金額も安かったので、当時補正予算を計上して購入した。その際に相手方から一括で購入してほしいという申出もあったので、14筆まとめて購入した。

堀議員：当初想定していた事業が進捗してこなかった理由も説明してほしい。

行政グループ主幹：木の仮植場（樹苗圃）と、小中学校の体験農場として使用する予定であったが、樹苗圃は現在拡幅中の名古屋江南線に植えられていた樹木を仮植えしたり、大野市から寄贈された花桃を植樹したりして活用してきた。体験農場は、保育園や学校から遠く、課外授業の時間の確保が難しく、具体的に活用が出来ていなかった。

堀議員：⑦は問合せがあった土地だからとのことだが、誰がどこで調べて問い合わせてきたのか。他の土地も問い合わせれば売り払いの対象になるのか。

行政グループ主幹：⑦は事業者から、駐車場として活用出来ないかと相談があったので、地域の特性等を総合的に判断して売り払いすることに決めた。相談をいただければ、総合的に判断する。

水野議員：最低落札価格は鑑定評価を行って定めるとのことだが、平成23年度の購入価格を下回る可能性はあるか。というのは、⑧⑩は土地の形がいびつなので、評価額が低いのではないかと思ったため。

行政グループ主幹：平成23年度に一括購入をしたときは一律、㎡あたり9,100円で購入した。現在鑑定しているが、それを下回ることはなさそうだ。

大野議員：最終的な鑑定結果は。

行政課長：近日中。

大野議員：25日の公告の際には最低価格は公表になっているということでもいいか。

行政課長：そのとおりである。

（5）尾張市町交通災害共済組合の解散に伴う規約変更について

市民窓口課長：資料なし口頭説明。3月定例会に規約変更の議案を上程予定とお伝えしていたが、令和2年1月10日付けで組合より、組合と愛知県との間の協議で変更があり、6月定例会で提出するよう依頼があった。

【質疑】

特になし。

（6）新型コロナウイルス感染症に係る各機関の対応、問合せ等について

健康課長：資料に基づいて説明。2月13日午後時点での感染者数は、国外感染者60,137名、国外死亡者1,369名、国内感染者33名（クルーズ船除く）、国内死亡者1名である。

【質疑】

大野議員：岩倉市にマスクの備蓄は。

健康課長：健康課には18,000枚程度ある。

大野議員：消防本部で確保しているマスクは何枚か。

総務課長：通常のマスクは救急出動用で3,000枚、新型インフルエンザ用で1,000枚、N95マスクが1,200枚である。

堀議員：現時点では広く流行が認められている状況ではありませんということだが、現時点は2月14日の、厚労省の説明なのか健康課の説明なのか。

健康課長：厚生労働省の説明から引用した。

堀議員：2月14日（今日）時点の見解か。

健康課長：資料作成時点なので、2月12日時点である。

（7）安全・安心パトロール事業の終了について

総務課長：資料なし口頭説明。委託業者より、人員確保が出来ないため来年度より実施出来ないと報告があった。他の警備会社にも問い合わせたが、いずれも引き受けは困難と回答があった。

【質疑】

特になし。

① 3月定例会に提出予定の議案について

総務部長：一般会計の補正予算で、国庫補助の内定があった南小学校の大規模改修と、寄附が非常に多かったふるさと納税については先議をお願いしたい。

各部長：資料に基づき説明。

【確認】

黒川議員：決算でもお願いしたが、補正予算（第8号）関連で、当初予算と実績見込みの差引きを示した一覧表を資料として提供してもらいたい。決算の時は出してもらったはずだ。

副市長：実績とは何の実績か。事業毎の実績か。

黒川議員：第8号の補正予算。概要には、決算見込みに合わせて、と書かれているので。いちいち質疑の中で聞く必要はないので、事前資料としていただければそれで済むと思う。

副市長：増額補正分か。

黒川議員：減額も。

副市長：工事の執行残等ということか。

黒川議員：そうではなく、例えば給付金で、給付実績が見込みより多くなっているわけだから、当初の見込みに対して実績見込みがいくらで、その差引きがどうなんだということ。そういった一覧表は作れるだろう。お願いしたい。

総務部長：議会としての要求ということでよいか。

梅村議長：内容が少しつかめなところがあるので、一度、調整させてもらいたい。

（2）その他

消防長：本年度購入したポンプ車について、２月２０日に納車されるので、議員の皆さんに見てもらいたいと考えている。２月２２日の議会報告会が消防庁舎で行われると聞いたので、時間のある方は議会報告会終了後に見てもらいたい。

１２ 協議事項

特になし。

１３ その他

特になし。